

平成30年7月 安浦町豪雨災害の記録



安浦町まちづくり協議会

平成 30 年 7 月 5 日から 7 日にかけて降った豪雨により安浦町は甚大な被害をこうむり、長い間市民生活に大きな影響がでました。町内で見える山はどちらをみても山肌に土石流による爪痕が見え、水害に見舞われた町は土砂がたまり土埃がたち、暑い中人々は疲れた表情で災害あとをかたづけていました。

災害後 1 年を経過し、今でも災害直後のいやな記憶がよみがえります。まだ復旧には遠い状態ですが、災害直後の状態を記録して将来の災害に備えるよう、写真集を発行することにしました。

町内各地の被災状況を写した写真を見ると、安浦町内ほぼ全域で土砂災害、河川の崩壊が起こっていることに唖然とします。だんだん記憶が薄れていきますが、写真を見ることにより改めて防災意識を持つことを願っています。

「海と緑とロマンの町安浦」を復旧させるのに時間がかかるかもしれませんが、安浦町の住民そろって頑張りましょう。

安浦町まちづくり協議会
会長 田中 敏弘

7 月 3 日から降り始めた雨は 5 日になってもその雨脚は弱まることはなく、ますます激しく降り続きました。空を見上げながら不安な思いで、雨脚の弱まることを祈る私たちの気持ちは天に届かなかったのか、6 日には大雨特別警報も出されました。そして、その日から安浦の風景も景色も穏やかな生活も一変しました。

あれから 1 年が経ちました。思い出したくない梅雨の時期がやってきました。

大切なご家族を失ったご遺族の無念さ、悲しみ、そして被害を受けられた方々の生活再建へ向けての不安、ご苦労は計り知れないものがあると思います。

自然災害を無くすことはできません。しかし災害に備えることで被害を最小限にとどめることができます。この写真集は災害の記憶を後世に伝え、備えの大切さを私たちに教えてくれるものになると確信します。上梓に携わってくれたみなさまのご努力に感謝いたします。

安浦町自治会連合会
会長 由見 和雄

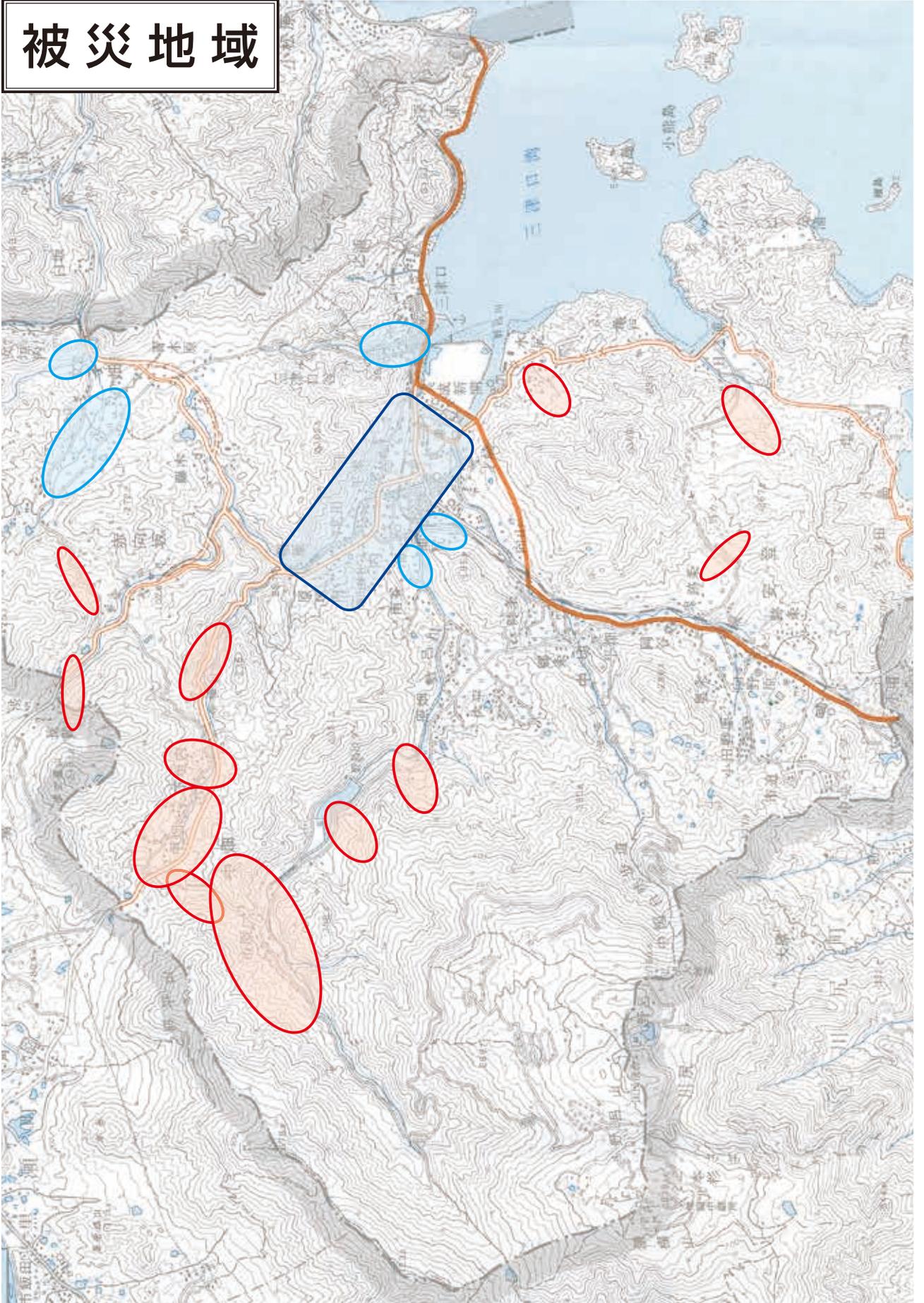
目 次

被災地域	2
崩落地分布図	3
雨雲レーダーと降雨量	4
災害の記録	
■市原地区	6
■下垣内地区	11
■中畑地区	13
■中央・駅北地区	18
■内海地区	23
■安登地区	28
■中切地区	29
■赤向坂	29
■内平地区	30
■女子畑	31
■原畑地区	32
■日之浦地区	33
■三津口地区	34
■水尻地区	34
災害支援の記録	36
災害に関する情報	46
安浦町の災害	47
写真集センター長・社協副センター長挨拶	48

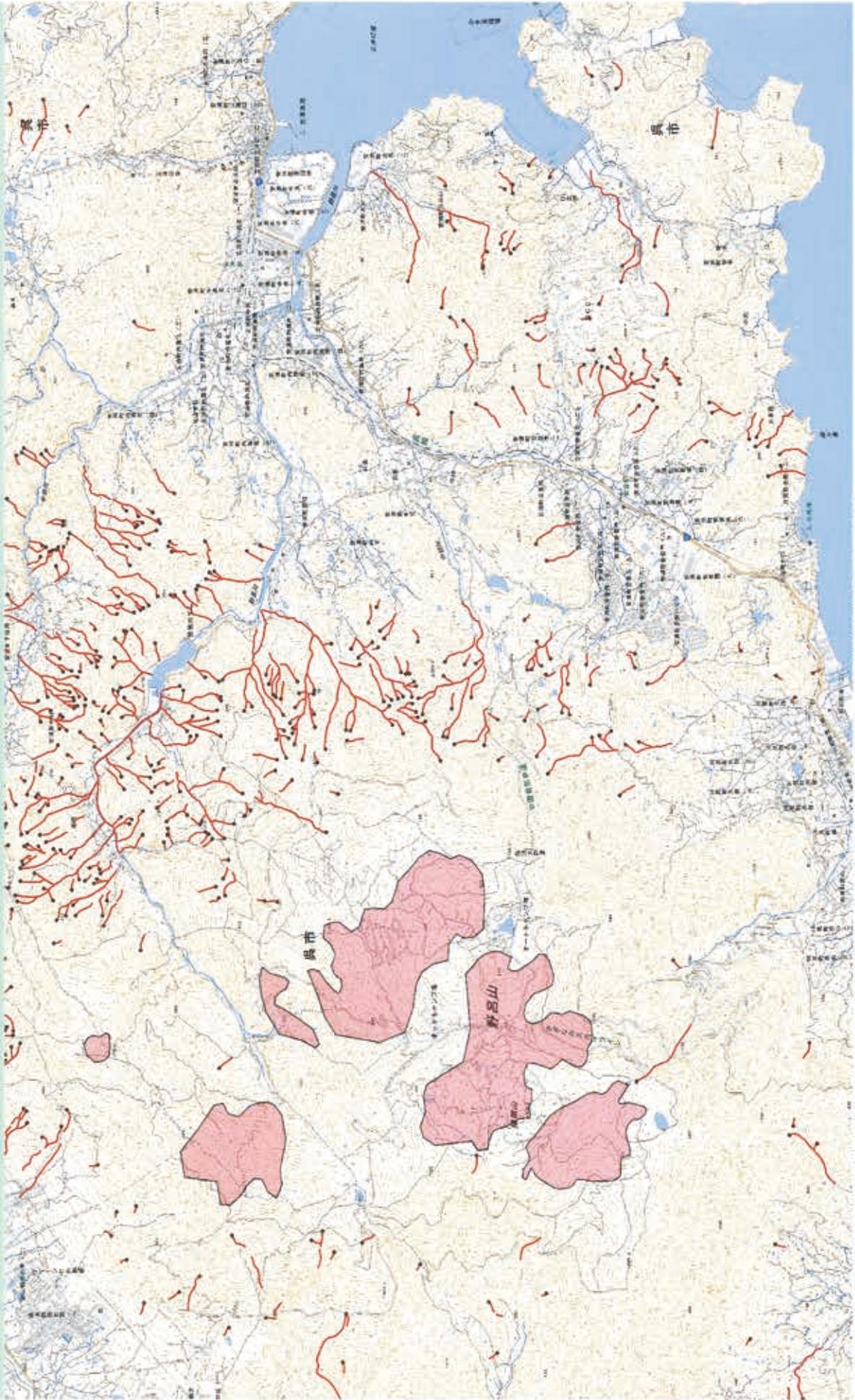
土砂災害地域

冠水地域

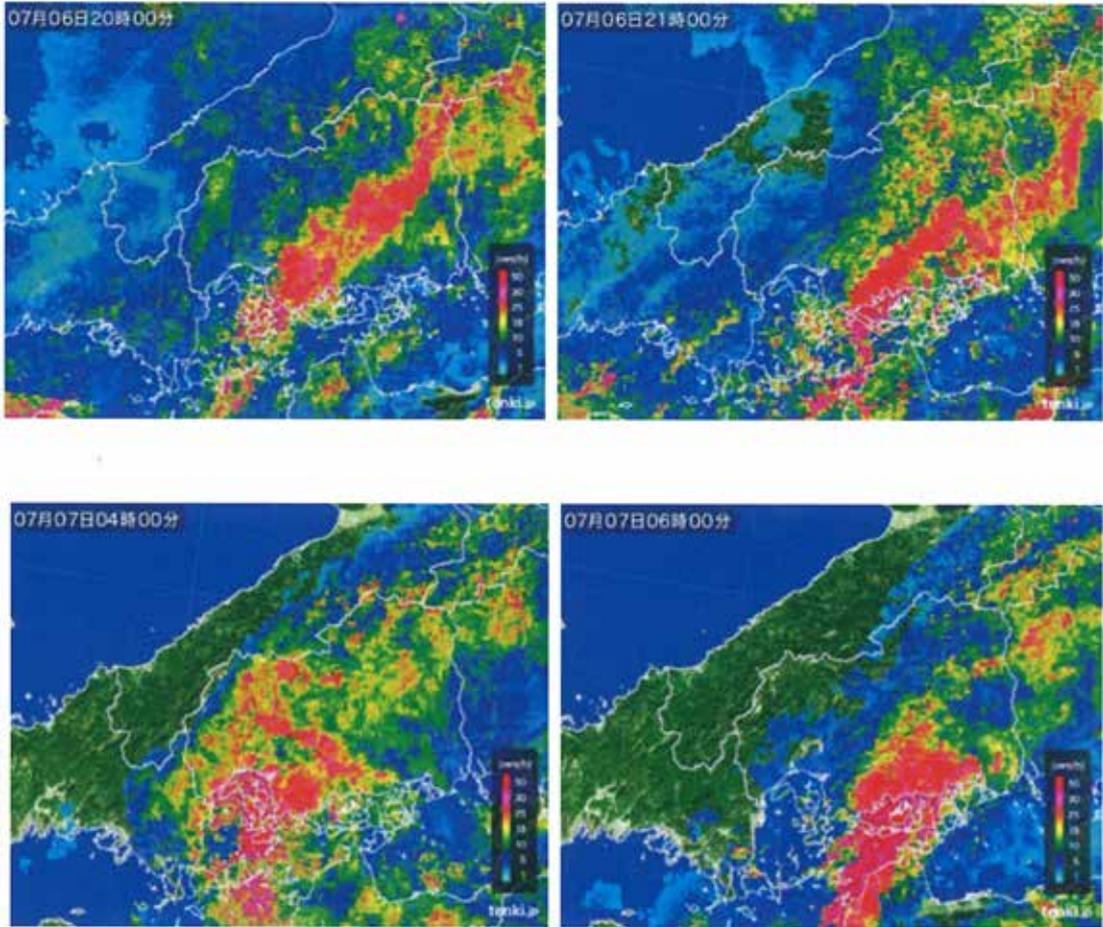
被災地域



平成30年7月豪雨に伴う崩壊地等分布図(広島県 No.35)



雨雲レーダーの推移



72Hr 最大雨量

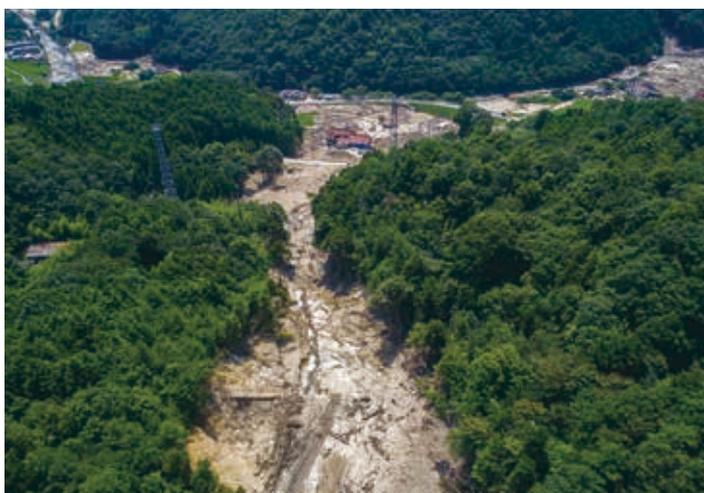


災害の記録

市原地区



市原地区



市原地区



砂防堰堤を乗り越えた濁流



砂防堰堤の破壊



市原地区





下垣内地区

下垣内



砂防堰堤を乗り越えた崖崩れ





中畑地区

中
畑





中畑地区

中
畑





中央・駅北地区



中央・駅北



中央・駅北地区

中央・駅北





中央・駅北地区



中央・駅北

中央・
駅北地区



内海地区

内
海



内海地区

横町商店街



茶道・北川



内
海

安浦小学校付近



内海地区

南谷入口付近



川手神社付近



内海南2丁目付近





安登地区

安登東6丁目



安登東2丁目付近



安登中央ハイツ



安登西7丁目



中切地区



赤向坂



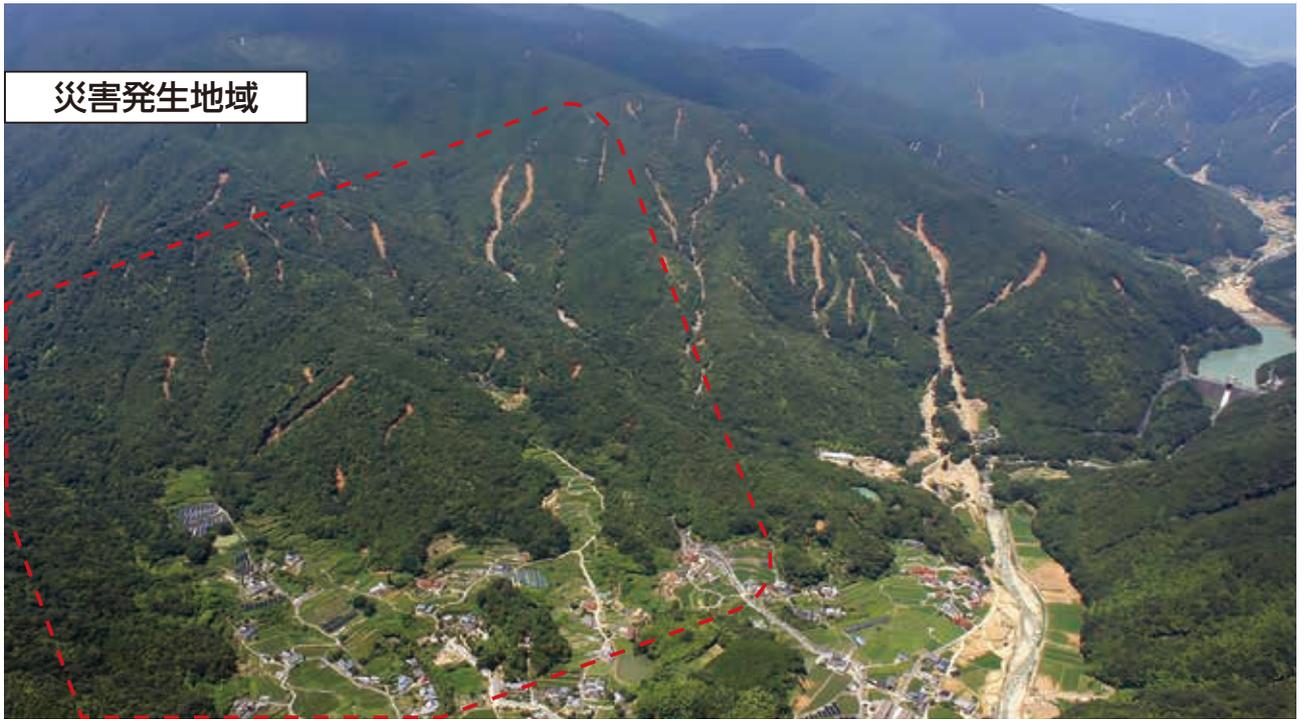
中
切
赤
向
坂

市道：女子畑～赤向坂線



内平地区

災害発生地域



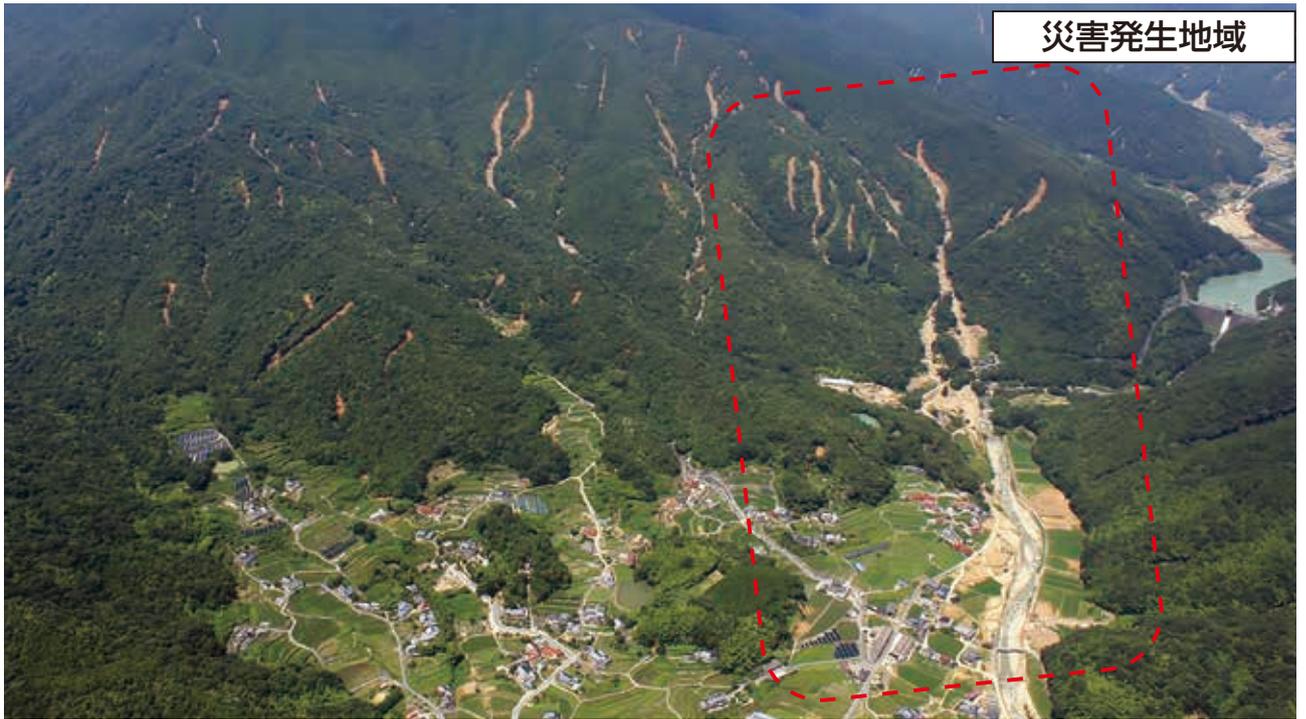
奥の谷池の堤防決壊



水田の冠水



原畑地区





三津口地区



憩の家附近



柏島神社務所



流木の回収



三津口湾：杭式力キ杭の破損



水尻地区



災害支援の記録

平成30年7月安浦町では甚大な豪雨災害が発生し、他県・他市の行政支援や応援派遣、日本赤十字社・各医療機関・社会福祉協議会・消防局・消防団・保健所・自衛隊・警察などの救助隊災害派遣、一般ボランティアの長期間支援や物資の提供など、全国の皆様に物心ともにお世話になりました。

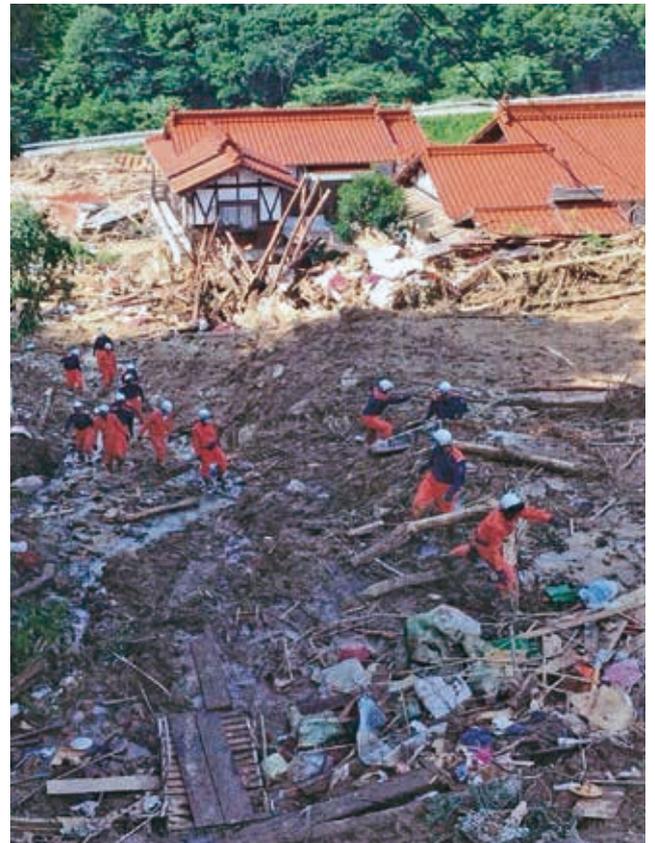
町民一同、心より感謝致します。本当にありがとうございました。

災害支援

消防局による捜索と救助活動

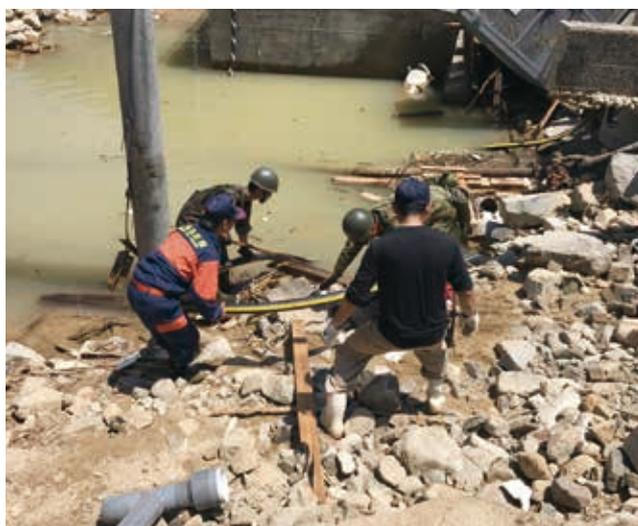


災害地区まで徒歩で行く



災害支援

消防団による搜索と救助活動



災害支援

陸上自衛隊の災害支援活動



海上自衛隊呉教育隊の災害支援活動



災害支援

警察による災害支援活動



一般ボランティアの活躍



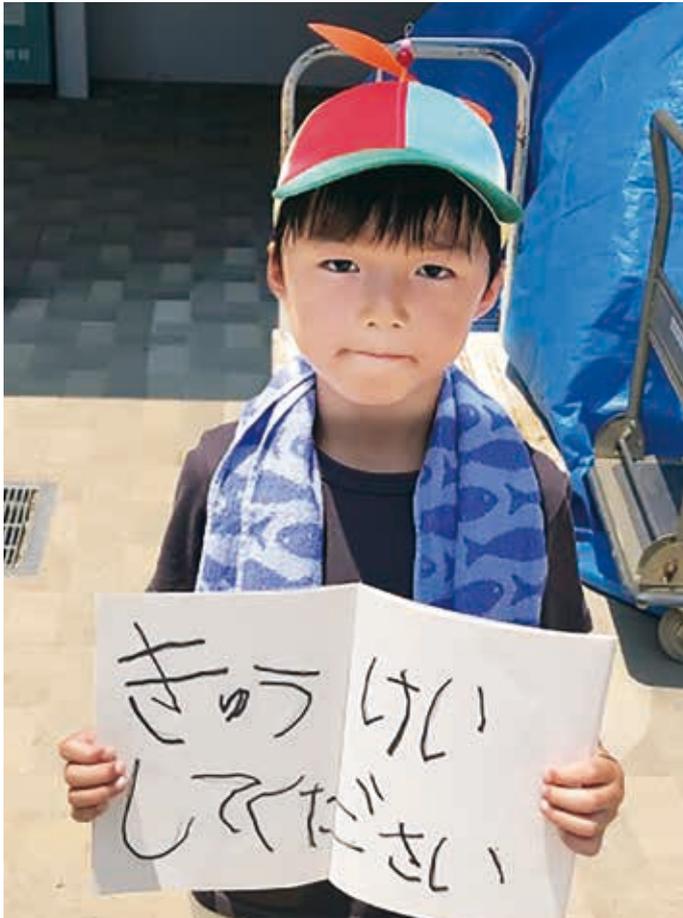
災害支援

一般ボランティアの活躍



災害支援

食事・飲物などの提供



慰問コンサート



お花をもって慰問



ボランティアへの宿舎提供



災害支援

医療関係



支援物資



炊出し



災害支援 仮設住宅関係

入居者とボランティアが餅つき大会を実施、参加者を接待されました。



入居者が積極的に料理を作って提供し、近隣住民やボランティアと花見をしました。



災害支援

沖縄ボランティアの慰問で、郷土料理の提供やシーサー作り・カチャーシーの踊りなどを披露



災害支援



避難の手引き

保存版

発行：防災総務課
 危機管理課
 浜市中央4-1-6
 ☎25-3326
 令和元年6月

避難の手引き (大雨編)

「自らの命は自らが守る」意識をもって、自分の判断で避難行動をとりましょう。

避難情報の出し方が変わります 災害に関する情報

洪水や土砂災害に関する防災情報の5段階区分

警戒レベル	出される情報	とるべき行動	
レベル1	早期注意情報 (気象庁が発表)	災害への心構え!	危険度 ↓
レベル2	大雨注意報や洪水注意報 (気象庁が発表)	避難行動の確認!	
レベル3	避難準備・高齢者等避難開始 (気象庁が発表)	高齢者等は避難!	
レベル4	避難勧告 (気象庁が発表) 避難指示(緊急) (気象庁が発表)	全員避難!	
レベル5	災害発生情報 (気象庁が発表)	命を守るための最後の行動!	

雨の降り方

大雨・洪水注意報

10mm/時~20mm/時
やや強い雨
堤防からの崩れや土砂災害の発生が懸念される



大雨・洪水警報
土砂災害警戒情報

20mm/時~30mm/時
強い雨
どしゃ降りなどで、傘をさしても濡れる



大雨特別警報

30mm/時~50mm/時
激しい雨
バケツをひっくり返したよりに降る。傘をさしてもお尻が濡れる可能性がある



大雨特別警報

50mm/時~80mm/時
非常に激しい雨
ゴーゴーと濁るような降り。傘だけでは避難所などがある



大雨特別警報

80mm/時以上の猛烈な雨
避難しなくなるような状況がある。大規模な災害が発生する可能性がある



気象庁などによる気象情報(大雨の場合)

警戒レベルが予想される時

早期注意情報

警戒レベルが上がる時

大雨注意報

大雨が降り続く時

大雨警報

土砂災害の発生可能性が高まる時

土砂災害警戒情報

数十年に一度の大規模な大雨が予想される時

大雨特別警報

- 今後、大雨警報などになる可能性がある状況です。災害への心構えを高めます。
- 大雨により建物の浸水やけがれなどの土砂災害の発生が予想される状況です。最新の情報に注意して、非常用品や避難所、避難ルートを確認し、早めの避難を心掛けましょう。
- 大雨により建物の浸水やけがれなどの重大な災害の発生が予想される状況です。災害が発生する前に、早めに避難を行いましょう。
- 今すぐに土砂災害が発生してもおかしくない状況です。速やかに避難を行いましょう。
- すでに何らかの災害が発生して避難が困難となっている可能性が高い状況です。まだ避難を完了していない場合はただちに命を守る行動をとってください。

自分の身を守るために早めの避難の心がけ

避難を開始するタイミングには次のような場合が考えられます。
危険を察知したら、身を守るために、**自ら早めに避難しましょう。**

雨の降り方が異常だ



山の様子がおかしい



土砂災害警戒情報が発表された



↓

避難所への避難が困難なときは、**頑丈な建物の2階以上で、危険な斜面や崖から離れた場所に避難してください。**

すでに災害が発生している



安浦町の災害

No.	年月日	災害の形態	災害場所	被害状況	死者
11	平成三十年七月	豪雨による土砂崩れ・河川氾濫	町内各地	土砂崩れによる家屋流出と野呂川&中畑川の氾濫・堤防決壊	四名
10	平成二十二年七月	豪雨による土砂崩れ	安登	家屋の倒壊	一名
9	昭和四十七年八月二十・二十一日	集中豪雨	町内各地	床上・床下浸水／家屋の全半壊／農地の冠水	二名
8	昭和四十四年六月二十九日 七月八日	豪雨	町内各地	床上・床下浸水／家屋の全半壊	二名
7	昭和四十二年七月九日	七号台風による集中豪雨	町内各地	床上・床下浸水／家屋の全半壊	三名
6	昭和三十九年六月二十七日	突然の大雨	内海・三津口市街地・野呂川	床上・床下浸水／農地冠水／河川決壊等	
5	昭和二十七年七月十日	豪雨による土砂崩れ	中畑	家屋の倒壊	二名
4	昭和二十六年七月中旬	豪雨	町内各地	田畑の冠水・橋梁の流出	
3	昭和二十年九月十七日	枕崎台風	安浦駅周囲・市原・原畑	中畑川・野呂川の氾濫	二十名近く
2	明治三十六年七月十四日	集中豪雨	内海・茶道附近	中畑川の氾濫・堤防決壊	
1	明治十七年八月二十五日	暴風雨	実成新開	堤防決壊	



内海茶道付近の大水害
明治三十六年七月十四日



暴風雨激波による大水害により実成塩田堤防が決壊し、内海・三津口の住民が総動員で復旧作業。大正六年ごろ



野呂川水害（内海河手神社付近）昭和二十年九月



集中豪雨による中畑川の氾濫（内海小前）昭和四十二年七月

平成30年7月豪雨災害でお亡くなりになられた方々に、心から哀悼の意を表しますとともに、被災された多くの皆様にお見舞いを申し上げます。

昨年の豪雨では、土砂崩れや河川の氾濫などが発生し、安浦町では尊い人命が失われました。また、安浦駅前を中心とした広い範囲で浸水し、建物被害は、全体で980棟以上にのぼり、人々の暮らしに大きな影響を与えました。

その豪雨災害から約1年が経過いたしました。被災された方の中には、今もなお困難な生活を強いられています。

安浦町の復旧・復興に向けた道のりは、これからまだまだ多くの時間を要しますが、一日も早い復旧・復興を目指し、力を合わせて一歩ずつ着実に前進していかなければなりません。

このたび、安浦町まちづくり協議会において、災害の記憶を留め、当時の記録を後世に伝えることにより、地域の防災力向上に資することを目的に「災害記録誌」を発刊されますことは、誠に意義深いことと存じます。この地域の安全・安心なまちづくりの礎になることを心からお祈り申し上げます。

結びに、「記録誌」作成に当たり、資料を提供いただきました皆様にお礼申し上げますとともに、編集に携われました皆様に、敬意と感謝を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

呉市 市民部 安浦市民センター
センター長 有田 真

平成30年7月豪雨災害から1年経過いたしました。被害の大きかった安浦町は、安浦駅周辺や中畑・市原地区など、まだまだ復興や生活再建が進んでいないのが現状です。

呉市社会福祉協議会では、平成30年10月から「呉市地域支えあいセンター」を開設し、被災された方々を生活支援相談員が訪問し、様々な生活上の相談や地域交流行事のお手伝いをさせてもらっています。

時間の経過とともに被災された方々の境遇や心情は様々に変化してきています。それぞれのご事情に配慮しながら、様々な専門機関と連携し、被災された方と一緒に解決策を考え、自立へのお手伝いに全力で取り組んでいきたいと思っております。

災害発生後、全国から多くのボランティアが被災地を訪れ、復興支援の活動に取り組んでくださいました。このたび、安浦まちづくり協議会において「災害記録誌」を発刊されることは、災害の記録を後世に残すことに留まらず、その後のボランティア活動を含めた支え合い、助け合いの記録として大変貴重なものであると思っております。この記録誌が今後の復興と地域の支え合いの輪が広がる礎となることを祈念し、発刊のご挨拶とさせていただきます。

呉市社会福祉協議会 呉市地域支えあいセンター
副センター長 斎原 哲也

安浦町平成30年7月豪雨災害
令和元年8月発行
発刊：安浦町まちづくり協議会